

# 頸椎牽引装置 簡易型タイプ

## 使用説明書

安全にご利用いただくために、必ずご使用前にお読みください。  
また、いつでも読めるよう大切に保管しておいて下さい。

### 目次

用途 .....	1
使用上の注意 .....	1
商品の名称 .....	2
設定方法 .....	2
使用方法 .....	3

### 用途

頸椎の牽引(持続牽引用)

### 使用上の注意

本使用説明書では安全に関わる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて次のように分類しています。



**警告**

誤った使い方をすると、人が重症を負う可能性がある内容



**注意**

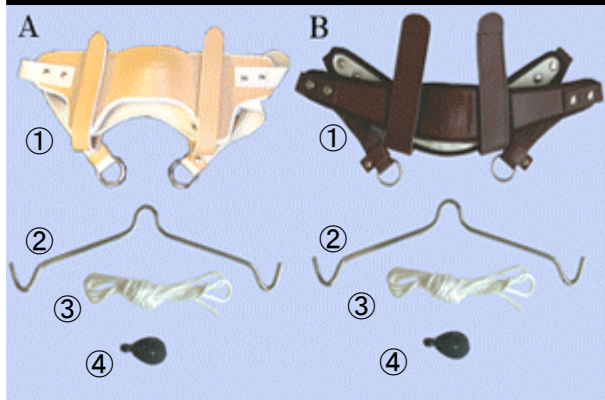
誤った使い方をすると、人が軽傷を負うか、または本品以外の他の財物に損害を与える可能性がある内容



**警告**

1. 牽引開始の頃、嘔気の頸部痛が、却って増悪することがあります。痛みが強い時は中止してください。
2. 小さい子供さんがのいる家庭では、子供さんの手に触れることのないよう管理してください。
3. 牽引開始後、頸部痛がひどくなったり、しびれたりするような場合は、すぐに牽引を中止して医師に相談してください。

## 商品の名称



- ① 頸椎牽引帯
- ② ハンガー
- ③ 紐
- ④ 滑車

※ 重り、重り袋は別売りになります。

※ 滑車取り付け用の木ネジも付属しております。

## 設定方法

1. 鴨居などにしっかりと木ネジ等で滑車を取り付けて下さい。  
付属している滑車取り付け用の木ネジが取り付け可能であれば使用してください。



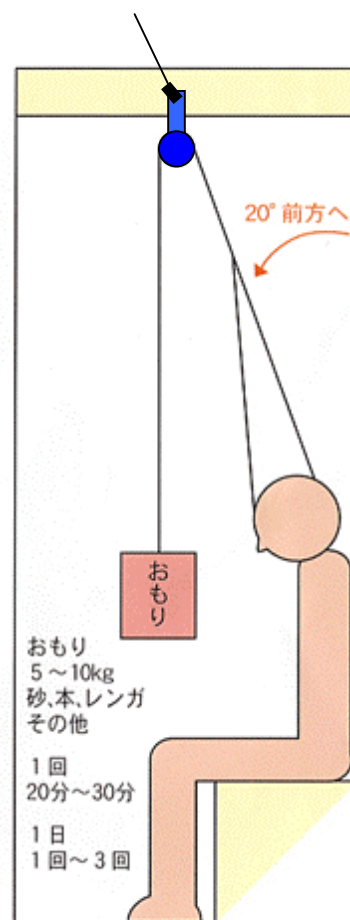
注意

しっかりと固定しないと牽引時に重り・滑車が落下して危険です。

2. 滑車に紐を通し、両端に重り袋とハンガーを取り付けます。紐の長さは、重りを地面に下ろしたときに牽引帯が立位をとった状態で目の前の高さになるくらいにして下さい。ハンガーに牽引帯をとりつけます。



木ネジ等で固定



## 使用方法

---

1. 重りが地面についている状態で牽引帯を装着します。(立った状態で牽引帯を装着します。)
2. 牽引帯を装着した状態で静かに腰掛けてください。牽引が開始されます。
3. 牽引の方向は、20° くらい前方に引いてください。(これはアゴの負担も少なくします。)肩と首の力を抜き、椅子の背にゆっくりもたれてください。牽引中、数回、口を開いたり、下アゴを動かしたりと、牽引するアゴや歯の痛みを、ある程度予防できます。



**警告** 牽引中、首を回さないでください。

4. 重りの重さは、一般的に、小柄の人で 5kg、大柄の人は 10kg くらいにします。また、重りは徐々に重くして行ってください。最初は軽く 3kg くらいより始め、3 日くらいで、5~10kg にして下さい。
5. 牽引時間は、1回 20~30 分としてください。最初は少なめより始めてください。
6. 牽引回数は、牽引時間とは逆に、最初の 1~2 週は 1 日に 2~3 回行ってください。その後は 1 日に 1 回~2 日に 1 回として下さい。



**警告** 牽引の方向、重りの重さ、牽引時間、牽引回数は守ってください。

---

商品のお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 長崎かなえ

住所:長崎県長崎市坂本 1 丁目 6-10

TEL:095-845-6255

FAX:095-845-6256